

10 港湾運送事業関係料金

港湾荷役（一貫・船内・沿岸・小型船）・はしけ運送・いかだ運送・輸出貨物船積の各料金については平成12年11月1日から、検数・検量・鑑定の各料金については平成18年5月15日から届出制となっています。各港湾運送事業者において本料金表と異なる料金表の届出がなされている場合は、その料金表によるため、現行の実施料金については、該当港運事業者にお問い合わせください。

(1) 港湾荷役料金表(船内・沿岸一貫料金)

(総トン数1,000トン未満の小型船荷役料金を除く。)

1) 適用範囲

この港湾荷役料金は、当該貨物について、接岸本船の船内荷役と沿岸荷役を同一委託者から引受けた場合又は異なる委託者からであっても当該貨物に係る接岸本船の船内荷役と沿岸荷役が同量となる引受の場合等船内荷役と沿岸荷役の荷役手配が一貫して行える場合に適用します。

2) 料金の種類及び適用方

① 基本料金

品目			金額（1トンにつき）		
			接岸本船⇄ 上屋・野積場内	接岸本船⇄ 上屋・野積場前	
ユニ タ イ ズ 貨 物 等	コンテナ	実入	1,193 円	1,066 円	
		空	1,014 円	905 円	
	パレタイズ貨物・バンパック・バッグコンテナ プレスリング		2,305 円	2,112 円	
	ノックダウン自動車 完成車(重量5トン未満かつ容積20トン未満のもの)		1,803 円	1,653 円	
		完成車(重量5トン以上又は容積20トン以上のもの)	2,524 円	2,298 円	
包 装 品	袋物		3,156 円	2,883 円	
	ボール物		3,071 円	2,802 円	
	カー ト ン ケ ー ス ク レ ー ト	雑貨類・機械類(1個当り5トン未満のもの)		3,460 円	3,183 円
		機械類(1個当り5トン以上のもの)		2,524 円	2,298 円
		青果類		2,594 円	2,355 円
冷凍品・冷蔵品			5,006 円		

有 姿 貨 物	タイヤ			2,378 円	2,199 円	
	巻取紙(内地産)			1,908 円	1,706 円	
	木材	岸壁揚のもの	原木	米国材・南洋材	1,739 円	1,563 円
				北洋材	2,361 円	2,188 円
			製材		1,870 円	1,689 円
	非鉄金属類(半製品・銑鉄・地金)			2,803 円	2,520 円	
	鋼材	一般鋼材(口径 12 インチ未満の鋼管含む)		2,700 円	2,467 円	
		鋼管(口径 12 インチ以上のもの)・コイル		2,297 円	2,100 円	
石材			2,751 円	2,556 円		
撒 貨 物	小麦・肥料原料・鉍礦石(粉)			1,861 円	1,667 円	
	鉍礦石(塊)・特殊鉍礦石			2,578 円	2,347 円	
	砂糖			2,493 円	2,312 円	

(イ) 作業範囲

基本料金が適用される作業範囲は、次のとおりとします。

ただし、関連事業に係る行為は除きます。

A 「接岸本船内⇔上屋・野積場内」の場合

(揚荷) 接岸本船の本船内の貨物を岸壁上に取卸し、上屋・野積場内へ移送、併付するまでの作業。

(積荷) 上屋・野積場内の貨物を岸壁上に移送し、接岸本船内に積込むまでの作業。

B 「接岸本船内⇔上屋・野積場前」の場合

(揚荷) 接岸本船の本船内の貨物を岸壁上に取卸し、上屋・野積場前又は貨車・トラック等の車側へ移送する作業。

(積荷) 上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側にある貨物を岸壁上に移送し、接岸本船内に積込むまでの作業。

(ロ) 料金表に記載のない貨物等

基本料金表に記載のない貨物については、基本料金表記載の貨物と、荷姿、作業構成員数等が類似している場合は、その料金を適用し、類似した貨物がない場合は、委託者と協議の上、決定した料金を基本料金とします。

② 割増料金

割増料金は、次のとおりとします。ただし、割増料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割増率を乗じて各割増料金を算出し、これらの金額を合算します。

種別	内容	割増率
半夜荷役	16時30分から21時30分までの間における荷役	基本料金の6割増
土曜日荷役	土曜日(当該週の月曜日から金曜日までの間に国民の祝日<振替休日を含む。>がある場合における土曜日を除く。)における荷役	基本料金の6割増
日曜日・祝祭日荷役	日曜日・祝祭日における荷役	基本料金の10割増

③ 割引料金

割引料金は、次のとおりとします。ただし、割引料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割引率を乗じて各割引料金を算出し、これらの金額を差し引きします。

(イ) 大口数量割引

委託者からの1荷役の引受において、同一貨物の量が

A 1,000トン以上3,000トン未満の場合、当該貨物の全量について基本料金の5パーセント

B 3,000トン以上の場合、当該貨物の全量について基本料金の7パーセントに相当する金額を、当該貨物全量について当該貨物の基本料金を乗じて得た金額からそれぞれ割り引きます。

(ロ) 長期大量割引

同一委託者からの引受において、次のいずれの項目にも該当する場合は、当該取扱貨物量にそれぞれの基本料金を乗じて得た合計額の5パーセントに相当する額を、当該引受に係る請求額から割り引きます。

A 3ヶ月以上の長期契約があること。

B 1ヶ月間に2回以上の反復継続の引受があること。

C 1回当りの荷役量が3,000トンを超えること。

④ 待機料金

待機料金は、次のとおりとします。

昼夜区分	1口の作業構成員数による区分 (1口1時間につき)				
	15人以下 (12人)	16人~22人 (19人)	23人~29人 (26人)	30人~36人 (33人)	37人以上 (40人)
昼間 (8時30分から16時30分まで)	54,530円	84,930円	115,350円	145,780円	171,680円
半夜 (16時30分から21時30分まで)	84,830円	132,110円	179,440円	226,770円	267,060円

本料金は、荷役開始時刻(昼間荷役にあつては8時30分、半夜荷役にあつては16時30分)以降における本船入港待、本船積込貨物の到着待又は天候或いは揚貨装置故障等による荷役待機が生じた場合であつて、昼間荷役にあつては、8時30

分から 16 時 30 分までの間、半夜荷役にあつては、16 時 30 分から 21 時 30 分までの間に発生した待機時間について、それぞれの待機料金を適用します。ただし、待機事由が港運事業者の責に帰さないものであるときに限ります。

⑤ 最低料金

最低料金は、次のとおりとします。(1口につき 単位：円)

昼夜区分	1口の作業構成員数による区分 (1口1時間につき)				
	15人以下 (12人)	16人～22人 (19人)	23人～29人 (26人)	30人～36人 (33人)	37人以上 (40人)
昼間 (8時30分から16時30分まで)	432,600円	673,780円	915,110円	1,156,520円	1,362,000円
半夜 (16時30分から21時30分まで)	432,600円	673,780円	915,110円	1,156,520円	1,362,000円

本料金は、次の各号に該当する場合に適用します。ただし、これらの場合が港運事業者の責に帰さないものであるときに限ります。

(イ) 荷役手配の取消しの場合

A 昼間荷役の手配申し受け最終時刻(前日の15時)以降2時間を経過してからの取消しについては、昼間荷役の最低料金を適用します。

B 半夜荷役の手配申し受け最終時刻(当日の15時)以降の取消しについては、半夜荷役の最低料金を適用します。

(ロ) 半端荷役等の場合

荷役開始後における作業中止又は少量作業或いは待機が伴ったこと等により、昼間荷役及び半夜荷役の区分毎に当該作業に係る請求金額がそれぞれの最低料金に満たない場合は、該当の最低料金を適用します。

⑥ 分担金等

区分	金額
港湾福利分担金	各貨物(一律)1トンにつき 8円
港湾労働法関係付加金	各貨物(一律)1トンにつき 3円
労働安定基金	各貨物(一律)1トンにつき 7円

3) 消費税及び地方消費税の加算

① 料金の総額に消費税法等に基づく税率を乗じて計算します。

ただし、免税となる取引には適用しません。

② 上記により計算された金額に1円未満の端数が生じたときは、1円単位に四捨五入します。

4) 料金の計算方

料金の計算方は、次によります。

計算トン数は、重量、容積いずれか大なる方とし、重量は1,000キログラム、容積

は 1.133 立方メートルをもって 1 トンとみなします。

なお、慣例により重量に一定の係数を乗じて得た数値をもって計算トン数としている場合には、その例によります。ただし、コンテナは実入・空とも 20 フィート型は 1 個当たり 32 トン、40 フィート型は 1 個当たり 48 トンをもってそれぞれ計算トン数とします。また、20 フィート型未満のコンテナは、20 フィート型を基準とする換算トン数をもって計算トン数とし、35 フィート型及び 45 フィート型等は 40 フィート型と同じとします。

5) その他

- ① 本料金を適用する荷役において、「上屋出しコンテナ詰又はコンテナ出し上屋入れ作業」、「看貫作業」、「仕訳作業」、「はい替作業」及び「上屋保管」が伴う場合のこれらの諸作業に係る料金は、当港において適用される港湾荷役料金(沿岸荷役料金)のそれぞれの料金を準用します。
- ② 特殊貨物(特大品、変質・発熱・塵埃・悪臭・汚損の甚だしい貨物、海難貨物等)、雨天・雪天時荷役及び特殊荷役(海難船・特殊船の荷役、荒天時荷役、荷印その他仕訳を伴う荷役、見本採取等を伴う荷役、沿岸荷役における長距離移送等)の場合は、基本料金のほかに、委託者と協議の上決定した金額を申し受けます。
- ③ 委託者の要求により、特別の荷役機械、資材等を使用した場合及びフォアマンを増員した場合には、委託者と協議の上、別途実費を申し受けます。
- ④ 本料金表に記載のない事項については、法令に反しない範囲内において当事者間の取極め又は慣習によります。

(2) 港湾荷役料金表

(船内荷役料金:総トン数 1,000 トン未満の小型船荷役料金を除く。)

1) 適用範囲

この港湾荷役料金(船内荷役料金)は、船内荷役のみを行う場合に適用します。

2) 料金の種類及び適用方

① 基本料金

品目			金額 (1 トンにつき)		
ユニ タ イ ズ 貨 物 等	コンテナ	実入	586 円		
		空	498 円		
	パレタイズ貨物・バンバック・バッグコンテナ・プレスリング		1,412 円		
	ノックダウン自動車 完成車(重量 5 トン未満かつ容積 20 トン未満のもの)		1,110 円		
完成車(重量 5 トン以上又は容積 20 トン以上のもの)		1,465 円			
包 装 品	袋物		1,885 円		
	バール物		1,813 円		
	カートン ケース クレート	雑貨類・機械類(1 個当たり 5 トン未満のもの)		2,185 円	
		機械類(1 個当たり 5 トン以上のもの)		1,465 円	
		青果類		1,469 円	
冷凍品・冷蔵品		3,713 円			
有 姿 貨 物	タイヤ		1,561 円		
	巻取紙(内地産)		949 円		
	木材	水落しのもの	原木	639 円	
		岸壁揚のもの	原木	米国材・南洋材 北洋材	902 円 1,574 円
			製材		1,019 円
		非鉄金属類(半製品、銑鉄、地金)		1,466 円	
	鋼材	一般鋼材(口径 12 インチ未満の鋼管含む)		1,619 円	
		鋼管(口径 12 インチ以上のもの)・コイル		1,378 円	
	石材		1,868 円		
	撒 貨 物	小麦・肥料原料・鉍礦石(粉)		938 円	
鉍礦石(塊)・特殊鉍礦石		1,496 円			
砂糖		1,674 円			

(イ) 作業範囲

基本料金が適用される作業範囲は、次のとおりとします。ただし、関連事業に係る行為は除きます。

A 揚荷の場合は、本船内の貨物をはしけ内又は岸壁上に取卸し、フックをはずすまでの作業

B 積荷の場合は、はしけ内又は岸壁上の貨物にフックをかけ、本船に積み込むまでの作業

(ロ) 料金表に記載のない貨物等

基本料金表に記載のない貨物については、基本料金表記載の貨物と、荷姿、作業構成員数等が類似している場合は、その料金を適用し、類似した貨物がない場合は、委託者と協議の上、決定した料金を基本料金とします。

② 割増料金

割増料金は、次のとおりとします。

ただし、割増料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割増率を乗じて各割増料金を算出し、これらの金額を合算します。

種別	内容	割増率
半夜荷役	16時30分から21時30分までの間における荷役	基本料金の6割増
土曜日荷役	土曜日(当該週の月曜日から金曜日までの間に国民の祝日<振替休日を含む。>がある場合における土曜日を除く。)における荷役	基本料金の6割増
日曜日・祝祭日荷役	日曜日・祝祭日における荷役	基本料金の10割増

③ 割引料金

割引料金は、次のとおりとします。

ただし、割引料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割引率を乗じて各割引料金を算出し、これらの金額を差し引きます。

(イ) 大口数量割引

委託者からの1荷役の引受において、同一貨物の量が

A 1,000トン以上3,000トン未満の場合、当該貨物の全量について基本料金の5パーセント

B 3,000トン以上の場合、当該貨物の全量について基本料金の7パーセントに相当する金額を、当該貨物全量について当該貨物の基本料金を乗じて得た金額からそれぞれ割引きます。

(ロ) 長期大量割引

同一委託者からの引受において、次のいずれの項目にも該当する場合は、当該取扱貨物量にそれぞれの基本料金を乗じて得た合計額の5パーセントに相当する額を、当該引受に係る請求額から割引きます。

A 3ヶ月以上の長期契約があること

B 1ヶ月間に2回以上の反復継続の引受があること

C 1回当たりの荷役量が3,000トンを超えること

④ 待機料金

待機料金は、次のとおりとします。

昼夜区分	1口の作業構成員数による区分 (1口1時間につき)				
	9人以下 (7.5人)	10人～13人 (11.5人)	14人～17人 (15.5人)	18人～21人 (19.5人)	22人以上 (22.5人)
昼間 (8時30分から16時30分まで)	34,030円	52,170円	70,300円	88,440円	102,060円
半夜 (16時30分から21時30分まで)	52,940円	81,150円	109,360円	137,570円	158,760円

本料金は、荷役開始時刻(昼間荷役にあつては8時30分、半夜荷役にあつては16時30分)以降における本船入港待、本船積込貨物の到着待又は天候或いは揚貨装置故障等による荷役待機が生じた場合であつて、昼間荷役にあつては8時30分から16時30分までの間、半夜荷役にあつては16時30分から21時30分までの間に発生した待機時間について、それぞれの待機料金を適用します。ただし、待機事由が港運事業者の責に帰さないものであるときに限ります。

⑤ 最低料金

最低料金は、次のとおりとします。

昼夜区分	1口の作業構成員数による区分 (1口1時間につき)				
	9人以下 (7.5人)	10人～13人 (11.5人)	14人～17人 (15.5人)	18人～21人 (19.5人)	22人以上 (22.5人)
昼間 (8時30分から16時30分まで)	269,970円	413,880円	557,710円	701,620円	809,680円
半夜 (16時30分から21時30分まで)	269,970円	413,880円	557,710円	701,620円	809,680円

本料金は、次の各号に該当する場合に適用します。

ただし、これらの場合が港運事業者の責に帰さないものであるときに限ります。

(イ) 荷役手配の取消しの場合

A 昼間荷役の手配申し受け最終時刻(前日の15時)以降2時間を経過してからの取消しについては、昼間荷役の最低料金を適用します。

B 半夜荷役の手配申し受け最終時刻(当日の15時)以降の取消しについては、半夜荷役の最低料金を適用します。

(ロ) 半端荷役等の場合

荷役開始後における作業中止又は少量作業或いは待機が伴ったこと等により、昼間荷役及び半夜荷役の区分毎に当該作業に係る請求金額がそれぞれの最低料金に満たない場合は、該当の最低料金を適用します。

⑥ 分担金等

区分	金額
港湾福利分担金	各貨物(一律)1トンにつき 4円
港湾労働法関係付加金	各貨物(一律)1トンにつき 1円50銭
労働安定基金	各貨物(一律)1トンにつき 3円50銭

⑦ 消費税及び地方消費税の加算

- (イ) 料金の総額に消費税法等に基づく税率を乗じて計算します。ただし、免税となる取引には適用しません。
- (ロ) 上記により計算された金額に1円未満の端数が生じたときは1円単位に四捨五入します。

⑧ 料金の計算方

料金の計算方は、次によります。計算トン数は、重量、容積いずれか大なる方とし、重量は1,000キログラム、容積は1.133立方メートルをもって1トンとみなします。

なお、慣例により重量に一定の係数を乗じて得た数値をもって計算トン数としている場合には、その例によります。ただし、コンテナは実入・空とも20フィート型は1個当たり32トン、40フィート型は1個当たり48トンをもってそれぞれ計算トン数とします。また、20フィート型未満のコンテナは、20フィート型を基準とする換算トン数をもって計算トン数とし、35フィート型及び45フィート型等は40フィート型と同じとします。

⑨ その他

- (イ) 特殊貨物(特大品、変質・発熱・塵埃・悪臭・汚損の甚だしい貨物、海難貨物等)、雨天・雪天時荷役及び特殊荷役(海難船・特殊船の荷役、沈木作業、防波堤外荷役、荒天時荷役、荷印その他仕訳を伴う荷役等)の場合は、基本料金のほかに、委託者と協議の上決定した金額を申し受けます。
- (ロ) 委託者の要求により、特別の荷役機械、資材等を使用した場合及びフォアマンを増員した場合には、委託者と協議の上、別途実費を申し受けます。
- (ハ) 本料金表に記載のない事項については、法令に反しない範囲内において当事者間の取極め又は慣習によります。

(3) 港湾荷役料金表

(沿岸荷役料金：総トン数 1,000 トン未満の小型船荷役料金を除く。)

1) 適用範囲

この港湾荷役料金(沿岸荷役料金)は、沿岸荷役のみ行う場合に適用します。

2) 料金の種類及び適用方

① 基本料金

接岸本船船側・はしけ内⇔上屋・野積場内または、上屋・野積場前

品目				金額 (1 トンにつき)		
				接岸本船⇔ 上屋・野積場内	接岸本船⇔ 上屋・野積場前	
ユニ タ イ ズ 貨 物 等	コンテナ	実入		670 円	536 円	
		空		569 円	455 円	
	パレタイズ貨物・バンパック・バッグコンテナ プレスリング		1,014 円	811 円		
	ノックダウン自動車 完成車(重量 5 トン未満かつ容積 20 トン未満のもの)		788 円	630 円		
	完成車(重量 5 トン以上又は容積 20 トン以上のもの)		1,192 円	954 円		
包 装 品	袋物			1,437 円	1,150 円	
	ベール物			1,420 円	1,136 円	
	カー ト ン ケ ー ス ク レ ー ト	雑貨類・機械類(1 個当り 5 トン未満 のもの)		1,457 円	1,166 円	
		機械類(1 個当り 5 トン以上のもの)		1,192 円	954 円	
		青果類		1,262 円	1,010 円	
冷凍品・冷蔵品			1,556 円			
有 姿 貨 物	タイヤ			942 円	754 円	
	巻取紙(内地産)			1,059 円	847 円	
	木 材	岸 壁 揚 の も の	原木	米国材・南洋材	929 円	743 円
				北洋材	911 円	729 円
			製材		949 円	759 円
	非鉄金属類(半製品・銑鉄・地金)			1,484 円	1,187 円	
	鋼 材	一般鋼材(口径 12 インチ未満の鋼管 含む)		1,223 円	978 円	
鋼管(口径 12 インチ以上のもの)・コ イル		1,040 円	832 円			
石材			1,028 円	822 円		
撒 貨 物	小麦・肥料原料・鉍礦石(粉)			1,021 円	817 円	
	鉍礦石(塊)・特殊鉍礦石			1,218 円	974 円	
	砂糖			950 円	760 円	

(イ) 作業範囲

基本料金が適用される作業範囲は、次のとおりとします。ただし、関連事業に係る行為は除きます。

A 「接岸本船船側・はしけ内⇄上屋・野積場内」の場合

a 接岸本船船側⇄上屋・野積場内の場合

(揚荷) 本船船側にある貨物を、上屋・野積場内へ移送、併付けるまでの作業

(積荷) 上屋・野積場内の貨物を搬出し、本船船側へ移送する作業

b はしけ内⇄上屋・野積場内の場合

(揚荷) はしけ内の貨物を陸揚し、上屋野積場内へ移送、併付けるまでの作業

(積荷) 上屋・野積場内の貨物を搬出し、はしけ内へ移送し積付るまでの作業

B 「接岸本船船側・はしけ内⇄上屋・野積場前」の場合

a 接岸本船船側⇄上屋・野積場前の場合

(揚荷) 本船船側にある貨物を、上屋・野積場前又は貨車・トラック等の車側へ移送するまでの作業

(積荷) 上屋・野積場前又は貨車・トラック等の車側にある貨物を、本船船側へ移送する作業

b はしけ内⇄上屋・野積場前の場合

(揚荷) はしけ内の貨物を陸揚し、上屋・野積場前又は貨車・トラック等の車側へ移送する作業

(積荷) 上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側にある貨物を、はしけ内へ移送し積付けるまでの作業

(ロ) 料金表に記載のない貨物等

基本料金表に記載のない貨物については、基本料金表記載の貨物と、荷姿、作業構成員数等が類似している場合は、その料金を適用し、類似した貨物がない場合は、委託者と協議の上、決定した料金を基本料金とします。

② 割増料金

割増料金は、次のとおりとします。ただし、割増料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割増率を乗じて各割増料金を算出し、これらの金額を合算します。

種別	内容	割増率
半夜荷役	16時30分から21時30分までの間における荷役	基本料金の6割増
土曜日荷役	土曜日(当該週の月曜日から金曜日までの間に国民の祝日<振替休日を含む。>がある場合における土曜日を除く。)における荷役	基本料金の6割増
日曜日・祝祭日荷役	日曜日・祝祭日における荷役	基本料金の10割増

③ 割引料金

割引料金は、次のとおりとします。ただし、割引料金が重複する場合には、基本料金をそれぞれの割引率を乗じて各割引料金を算出し、これらの金額を差し引きします。

(イ) 大口数量割引

委託者からの1荷役の引受において、同一貨物の量が

A 1,000 トン以上 3,000 トン未満の場合、当該貨物の全量について基本料金の5パーセント

B 3,000 トン以上の場合、当該貨物の全量について基本料金の7パーセントに相当する金額を、当該貨物全量について当該貨物の基本料金を乗じて得た金額からそれぞれ割り引きます。

(ロ) 長期大量割引

同一委託者からの引受において、次のいずれの項目にも該当する場合は、当該取扱貨物量にそれぞれの基本料金を乗じて得た合計額の5%に相当する額を、当該引受に係る請求額から割り引きます。

A 3ヶ月以上の長期契約があること。

B 1ヶ月間に2回以上の反復継続の引受があること。

C 1回当りの荷役量が3,000 トンを超えること。

④ 待機料金

待機料金は、次のとおりとします。

昼夜区分	1口の作業構成員数による区分 (1口1時間につき)					
	4人~6人 (5人)	7人~9人 (8人)	10人~12人 (11人)	13人~15人 (14人)	16人~18人 (17人)	19人~21人 (20人)
昼間 (8時30分から16時30分まで)	20,550円	32,760円	45,050円	57,340円	69,620円	81,920円
半夜 (16時30分から21時30分まで)	31,890円	50,960円	70,080円	89,200円	108,300円	127,430円

本料金は、荷役開始時刻(昼間荷役にあつては8時30分、半夜荷役にあつては16時30分)以降における本船入港待、本船積込貨物の到着待又は天候或いは揚貨装置故障等による荷役待機が生じた場合であつて、昼間荷役にあつては8時30分から16時30分までの間、半夜荷役にあつては16時30分から21時30分までの間に発生した待機時間について、それぞれの待機料金を適用します。ただし、待機事由が港運事業者の責に帰さないものであるときに限ります。

⑤ 最低料金

最低料金は、次のとおりとします。

昼夜区分	1口の作業構成員数による区分 (1口1時間につき)					
	4人~6人 (5人)	7人~9人 (8人)	10人~12人 (11人)	13人~15人 (14人)	16人~18人 (17人)	19人~21人 (20人)
昼間 (8時30分から16時30分まで)	162,630円	259,900円	357,400円	454,900円	552,320円	649,900円
半夜 (16時30分から21時30分まで)	162,630円	259,900円	357,400円	454,900円	552,320円	649,900円

本料金は、次の各号に該当する場合に適用します。ただし、これらの場合が港運事業者の責に帰さないものであるときに限りです。

(イ) 荷役手配の取消しの場合

A 昼間荷役の手配申し受け最終時刻(前日の15時)以降2時間を経過してからの取消しについては、昼間荷役の最低料金を適用します。

B 半夜荷役の手配申し受け最終時刻(当日の15時)以降の取消しについては、半夜荷役の最低料金を適用します。

(ロ) 半端荷役等の場合

荷役開始後における作業中止又は少量作業或いは待機が伴ったこと等により、昼間荷役及び半夜荷役の区分毎に当該作業に係る請求金額がそれぞれの最低料金に満たない場合は、該当の最低料金を適用します。

⑥ 上屋出しコンテナ詰又はコンテナ出し上屋入れ作業料金

本料金は、次の作業を行った場合に適用します。

(イ) 上屋内(コンテナフレートステーションを含む。)の貨物をその上屋内又は戸前でコンテナに詰めるまでの作業

(ロ) コンテナ内の貨物を取り出し、上屋内(コンテナフレートステーションを含む)にはい付するまでの作業

内容	金額 (1トンにつき)
袋物・ボール物及びこれらに類似した作業能率のもの	2,473円
雑貨類・機械類(1個当たり5トン未満のもの)及びこれらに類似した作業能率のもの	2,217円
ユニタイズ貨物、ノックダウン自動車及び完成車、機械類(1個当たり5トン以上のもの)及びこれらに類似した作業能率のもの	1,986円

⑦ 看貫作業料金

本料金は、貨物の看貫作業を行った場合に適用し、当該貨物の上屋内基本料金の3割とします。ただし、計量器使用及び検量立会人の費用については、本料金とは別に実費を申し受けます。

⑧ 仕訳作業料金

本料金は、貨物の仕訳作業を行った場合に適用し、当該貨物の上屋内基本料金の

3割とします。

⑨ はい替作業料金

本料金は、貨物のはい替作業を行った場合に適用し、当該貨物の上屋内基本料金の8割とします。

⑩ 上屋保管料金

(イ) 本料金は、船舶又は、はしけ積卸貨物を上屋その他の荷捌場において、一時保管する場合に適用します。

(ロ) 本料金表に記載のない貨物については、類似した保管内容(坪当りの収容トン数)の料金を適用します。

(ハ) 本料金の計算は、貨物搬入の日から貨物搬出の日までとします。

貨物分類	区分	
	私設上屋の場合 (1日1トンにつき)	公共上屋の場合 (1日1トンにつき)
コンテナ(野積場)	13円	9円
繊維原料類	57円	43円
青果	57円	43円
窯製品	68円	57円
その他の貨物	100円	81円

(注)1. 公共上屋の場合の上屋使用料は、条例に基づく金額を別途申し受けます。

2. コンテナについては、野積場置き料金の料金をとします。

3. 定温保管を要する貨物については、本料金の8割増、また、くん蒸を要する貨物については、本料金の2割増とします。

⑪ 分担金等

区分	金額
港湾福利分担金	各貨物(一律)1トンにつき 4円
港湾労働法関係付加金	各貨物(一律)1トンにつき 1円50銭
労働安定基金	各貨物(一律)1トンにつき 3円50銭

⑫ 消費税及び地方消費税の加算

(イ) 料金の総額に消費税法等に基づく税率を乗じて計算します。ただし、免税となる取引には適用しません。

(ロ) 上記により計算された金額に1円未満の端数が生じたときは、1円単位に四捨五入します。

⑬ 料金の計算方

料金の計算方は、次によります。

計算トン数は、重量、容積いずれか大なる方とし、重量は1,000キログラム、容積は1.133立方メートルをもって1トンとみなします。

なお、慣例により重量に一定の係数を乗じて得た数値をもって計算トン数として

いる場合には、その例によります。ただし、コンテナは、実入・空とも 20 フィート型は 1 個当たり 32 トン、40 フィート型は 1 個当たり 48 トンをもってそれぞれ計算トン数とします。

また、20 フィート型未満のコンテナは、20 フィート型を基準とする換算トン数をもって計算トン数とし、35 フィート型及び 45 フィート型等は 40 フィート型と同じとします。

⑭ その他

- (イ) 特殊貨物(特大品、変質・発熱・塵埃・悪臭・汚損の甚だしい貨物、海難貨物等)、雨天・雪天時荷役及び特殊荷役(長距離移送、荒天時荷役、見本採取等を伴う荷役等)の場合は、基本料金のほかに、委託者と協議の上決定した金額を申し受けます。
- (ロ) 委託者の要求により、特別の荷役機械、資材等を使用した場合には、委託者と協議の上、別途実費を申し受けます。
- (ハ) 本料金表に記載のない事項については、法令に反しない範囲内において当事者間の取極め又は慣習によります。

(4) 港湾荷役料金表(総トン数 1,000 トン未満の小型船荷役料金)

1) 適用範囲

この港湾荷役料金(総トン数 1,000 トン未満の小型船荷役料金)は、

① 総トン数 1,000 トン未満 500 トン以上の小型船の本船内⇄上屋・野積場内又は戸前までの荷役

② 総トン数 500 トン未満の小型船の本船内⇄上屋・野積場内又は戸前までの荷役に適用します。ただし、①及び②に該当する小型船荷役で船内荷役のみ又は沿岸荷役のみの場合は、当港において適用される港湾荷役料金(船内荷役料金)又は港湾荷役料金(沿岸荷役料金)を適用します。

2) 料金の種類及び適用方

① 基本料金

(イ) 総トン数 1,000 トン未満 500 トン以上の小型船内⇄上屋・野積場内又は上屋・野積場前

品目			金額(1 トンにつき)		
			本船内⇄ 上屋・野積場内	本船内⇄ 上屋・野積場前	
ユニ タ イ ズ 貨 物 等	コンテナ	実入	785 円	728 円	
		空	666 円	618 円	
	パレタイズ貨物・バンパック・バッグコンテナ プレスリング		1,891 円	1,754 円	
	ノックダウン自動車 完成車(重量 5 トン未満かつ容積 20 トン未満のもの)		1,481 円	1,374 円	
		完成車(重量 5 トン以上又は容積 20 トン以上のもの)	2,058 円	1,895 円	
包 装 品	袋物		2,582 円	2,386 円	
	バール物		2,510 円	2,316 円	
	カー ト ン ケ ー ス ク レ ー ト	雑貨類・機械類(1 個当り 5 トン未満 のもの)		2,851 円	2,652 円
		機械類(1 個当り 5 トン以上のもの)		2,058 円	1,895 円
		青果類		2,109 円	1,937 円
冷凍品・冷蔵品			4,218 円		

有姿貨物	タイヤ			1,968 円	1,840 円	
	巻取紙(内地産)			1,259 円	1,169 円	
	木材	岸壁揚のもの	原木	米国材・南洋材	1,400 円	1,274 円
				北洋材	1,959 円	1,834 円
			製材		1,513 円	1,384 円
	非鉄金属類(半製品・銑鉄・地金)			2,258 円	2,056 円	
	鋼材	一般鋼材(口径 12 インチ未満の鋼管含む)		1,898 円	1,795 円	
		鋼管(口径 12 インチ以上のもの)・コイル		1,614 円	1,526 円	
石材			2,290 円	2,150 円		
撤貨物	小麦・肥料原料・鉍礦石(粉)			1,494 円	1,356 円	
	鉍礦石(塊)・特殊鉍礦石			2,103 円	1,937 円	
	砂糖			2,070 円	1,941 円	

(ロ) 総トン数 500 トン未満の小型船内⇔上屋・野積場内又は、上屋・野積場前

品目			金額(1 トンにつき)		
			本船内⇔ 上屋・野積場内	本船内⇔ 上屋・野積場前	
ユニ タ イ ズ 貨 物 等	コンテナ	実入	781 円	625 円	
		空	663 円	530 円	
	パレタイズ貨物・バンパック・バッグコンテナ プレスリング		1,182 円	945 円	
	ノックダウン自動車 完成車(重量 5 トン未満かつ容積 20 トン未満のもの)		918 円	735 円	
	完成車(重量 5 トン以上又は容積 20 トン以上のもの)		1,388 円	1,110 円	
包 装 品	袋物		1,674 円	1,339 円	
	ベール物		1,655 円	1,323 円	
	カートン ケース クレート	雑貨類・機械類(1 個当り 5 トン未満のもの)		1,698 円	1,359 円
		機械類(1 個当り 5 トン以上のもの)		1,388 円	1,110 円
		青果類		1,470 円	1,177 円
冷凍品・冷蔵品			1,812 円		

有 姿 貨 物	タイヤ		1,097 円	878 円		
	巻取紙(内地産)		1,234 円	987 円		
	木材	岸壁揚のもの	原木	米国材・南洋材	1,082 円	866 円
				北洋材	1,061 円	849 円
			製材	1,105 円	884 円	
	非鉄金属類(半製品・銑鉄・地金)		1,729 円	1,383 円		
	鋼材	一般鋼材(口径 12 インチ未満の鋼管含む)		1,425 円	1,140 円	
		鋼管(口径 12 インチ以上のもの)・コイル		1,212 円	970 円	
石材		1,197 円	958 円			
撒 貨 物	小麦・肥料原料・鉍礦石(粉)		1,190 円	952 円		
	鉍礦石(塊)・特殊鉍礦石		1,420 円	1,136 円		
	砂糖		1,106 円	885 円		

(ハ) 作業範囲

基本料金が適用される作業範囲は、次のとおりとします。ただし、関連事業に係る行為は除きます。

A 「本船内⇄上屋・野積場内」の場合

(揚荷) 本船内の貨物を岸壁上に取卸し、上屋・野積場内へ移送・はい付するまでの作業

(積荷) 上屋・野積場内の貨物を岸壁上に移送し、本船内に積み込むまでの作業

B 「本船内⇄上屋・野積場前」の場合

(揚荷) 本船内の貨物を岸壁上に取卸し、上屋・野積場前又は貨車・トラック等の車側へ移送する作業

(積荷) 上屋・野積場前又は貨車・トラック等の車側にある貨物を岸壁上に移送し、本船内に積み込むまでの作業

(ニ) 料金表に記載のない貨物等

基本料金表に記載のない貨物については、基本料金表記載の貨物と、荷姿、作業構成員数等が類似している場合はその料金を適用し、類似した貨物がない場合は委託者と協議の上決定した料金を基本料金とします。

② 割増料金

割増料金は、次のとおりとします。ただし、割増料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割増率を乗じて各割増料金を算出し、これらの金額を合算します。

種別	内容	割増率
半夜荷役	16 時 30 分から 21 時 30 分までの間における荷役	基本料金の 6 割増
土曜日荷役	土曜日(当該週の月曜日から金曜日までの間に国民の祝日<振替休日を含む。>がある場合における土曜日を除く。)における荷役	基本料金の 6 割増

日曜日・祝祭日荷役	日曜日・祝祭日における荷役	基本料金の 10 割増
-----------	---------------	-------------

③ 割引料金

大口数量割引料金は、次のとおりとします。

委託者からの 1 荷役の引受において、同一貨物の量が 1,000 トン以上の場合、当該貨物全量について当該貨物の基本料金を乗じて得た金額から 5 パーセントを割り引きます。

④ 分担金等

- (イ) 総トン数 1,000 トン未満 500 トン以上の小型船内⇔上屋・野積場内又は上屋・野積場前

区分	金額
港湾福利分担金	各貨物(一律)1 トンにつき 8 円
港湾労働法関係付加金	各貨物(一律)1 トンにつき 3 円
労働安定基金	各貨物(一律)1 トンにつき 7 円

- (ロ) 総トン数 500 トン未満の小型船内⇔上屋・野積場内又は上屋・野積場前

区分	金額
港湾福利分担金	各貨物(一律)1 トンにつき 4 円
港湾労働法関係付加金	各貨物(一律)1 トンにつき 1 円 50 銭
労働安定基金	各貨物(一律)1 トンにつき 3 円 50 銭

⑤ 消費税及び地方消費税の加算

- (イ) 料金の総額に消費税法等に基づく税率を乗じて計算します。ただし、免税となる取引には適用しません。
- (ロ) 上記により計算された金額に 1 円未満の端数が生じたときは 1 円単位に四捨五入します。

⑥ 料金の計算方

料金の計算方は、次によります。

計算トン数は、重量、容積いずれか大なる方とし、重量は 1,000 キログラム、容積は 1.133 立方メートルをもって 1 トンとみなします。

なお、慣例により重量に一定の係数を乗じて得た数値をもって計算トン数としている場合には、その例によります。ただし、コンテナは実入・空とも 20 フィート型は 1 個当たり 32 トン、40 フィート型は 1 個当たり 48 トンをもってそれぞれ計算トン数とします。

また、20 フィート型未満のコンテナは、20 フィート型を基準とする換算トン数をもって計算トン数とし、35 フィート型及び 45 フィート型等は 40 フィート型と同じとします。

⑦ その他

- (イ) 本料金を適用する荷役において、「上屋出しコンテナ詰又は、コンテナ出し上屋

入れ作業」、「看貫作業」、「仕訳作業」、「はい替作業」及び「上屋保管」が伴う場合のこれら諸作業に係る料金は、当港において適用される港湾荷役料金(沿岸荷役料金)のそれぞれの料金を準用します。

- (ロ) 特殊貨物(特大品、変質・発熱・塵埃・悪臭・汚損の甚だしい貨物、海難貨物等)、雨天・雪天時荷役及び特殊荷役(海難船・特殊船の荷役、荒天時荷役、荷印その他仕訳を伴う荷役、見本採取等を伴う荷役、沿岸荷役における長距離移送等)の場合は、基本料金のほかに、委託者と協議の上決定した金額を申し受けます。
- (ハ) 委託者の要求により、特別の荷役機械、資材等を使用した場合には、委託者と協議の上、別途実費を申し受けます。
- (ニ) 本料金表に記載のない事項については、法令に反しない範囲内において当事者間の取極め又は慣習によります。